

令和5年度 学校評価報告書

学校番号(小68) 長崎市立(神浦小)学校

1 教育目標

学ぶことの喜びを実感できる子どもの育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

2 学校経営方針

学校・家庭・地域と連携し、子どもがともに学び、高めあう活気ある教育活動を展開する。

- 子どもが通いたい学校(うれしい出来事がある学校)
- 保護者が通わせたい学校(信頼される学校)
- 地域が支援したい学校(地域に生きる、開かれた学校)

3 重点目標

- 活気ある学校
 - ・自分の考えや意見を言える学級づくり
 - ・気になる子どもへの素早い丁寧な対応
 - ・計画的な保健指導や食育指導、体育指導の充実
 - ・基本的生活習慣の定着
 - ・歌声や音楽が響く学校行事の創造
 - ・職場環境の整備と働き方改革
- 学び合う学校
 - ・学ぶ喜びを目指した授業改善
 - ・一人一人を大切に人権意識の高揚
 - ・基礎学力の定着と学習規律の徹底
 - ・地域の特色を生かした教材の開発
 - ・地域に開かれ、地域とともに歩む教育活動の実践
 - ・保護者との連携
- 美しい学校
 - ・校舎内外の環境の整備

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	100	100	100	おおむね満足できる評価である。児童や保護者からは、「みんな仲が良い」「良い経験をさせてもらえてありがたい」と回答いただき、安心している。業務改善には、更なる向上を目指して力を入れていきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	100	100	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	100	100	100	おおむね満足のいく評価である。挨拶は、地域の方々からも「よく子どもたちが挨拶をしてくれる」という声をいただく。保護者の「あ・は・は運動」の評価は昨年と変わらない。懇談会やPTA総会など機会あるごと伝えていきたい。「平和教育」については、特に高い評価だった。被爆体験講話を実施できたことや、日ごろから自他の生命や人権の大切さをしっかり指導している現れだと考えられる。
		挨拶をよくしている	100	100	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	100	89	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	100	100	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	100	100	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	100	100	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	100	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	100	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	100	89	おおむね満足ができる評価である。「キュピナ」の活用により家庭学習の習慣がしっかりと身に付いたと考えられる。保護者から「授業が分かりやすく、成績アップにつながっている」という回答をいただいた。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	100	100	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	100	100	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	93	100	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		100				
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	100	100	100	おおむね満足ができる評価である。「マナーアップカード」「給食の指導の取組」「食育」に力を入れた効果が出た。「早寝・早起き・朝ごはん」が定着するようにマナーアップカードの集約を活用し、懇談会の話題にするなどの対策を講じていく。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	93	89	100	
		体力向上に努めている	100	100	89	
	食育	食に関する教育活動を行っている	100	100	100	

信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	100	89	100	おおむね満足できる評価である。今年度は、学校だよりをHPで公開したり、HPの更新を頻繁に行ったりしたことにより、評価が向上した。学校では、通信類を配るだけでなく、配布物を子供と一緒に読む時間を設け、確実に目を通すようにする。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	86	100	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	100	100	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	100	100	100	おおむね満足できる評価である。昨年度と評価が変わらない結果である。「働きやすい職場」について安全衛生推進委員会が職員一人一人の発言の場となり、できる対策を検討していくように推進する。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			89	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

- どの項目も高い評価を得ている。学校教育目標の実現と子供の健やかな成長に向け、日々職員一同取り組んでいることを、保護者や地域の方が認めていただき大変うれしく感じた。今後も引き続き、全職員で精進したい。
- 「健やかな体」の領域では、他地域と同じように視力の低下や体力の減少(筋力・走力)が見られた。デジタル機器の長時間使用、外遊びの減少等が考えられる。この課題を解決するために学校保健委員会で、外部講師による講演会を本校で実施し、児童・職員保護者が一緒に拝聴した。講演会後は、各家庭でデジタル機器の活用についてのルール作りを行った。その後は、定期的なアンケート等による聞き取りで、家庭でのきまりが守れているかの確認をしながら、子供たちの意識付けを継続させていく。
- 「信頼される学校」の領域では、昨年評価が低かったHP公開などの情報提供という分野で『学校だより』を家庭版・地域版と2種類作り、紙面とHPで公開したことで多くの方々に本校の様子を周知する機会が増えた。創立150周年記念とも重なり、多くの方々に来校訪問していただくきっかけともなった。

6 学校関係者評価

- 子供たちの挨拶は、地域でもしっかりできている。
- 「玄関前の花の手入れが大変良い。」「来校の際に手入れをされた花を見ると心が癒される。」と地域のお話になっている。また、子供たちが毎日欠かさず水やりをしている活動は、子供たちにとってもこの経験が良い思い出になっていくと感じた。
- 複式の授業において先生方の苦労は大変なものだと思う。その中でもしっかり子供たちの学力が身に付いている。
- これからの児童数の減少への対策が必要である。学校の行事にも積極的に参加していきたいと思うが、地域も高齢化が進んでいる。学校に協力したい思いはあるので、今できる範囲で地域とともに歩み続ける小学校であって欲しい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- 全体的に高い評価を得ているので、今後も子供たちの健やかな成長を目指し、学校教育目標の実現に向け職員一同で取り組んでいく。
- 「確かな学力」の領域では、更なる学力向上を目指して、複式学級での指導法の確立、『キュビナ』を活用し基礎的基本的な内容の定着、地域の特性を生かしたキャリア教育の充実を図りたい。
- 児童数・職員数の減少に伴い、学校行事の見直しが求められている。次年度から学校行事、日課の変更等を行い神浦小学校の教育活動を継続させていく取組を始める。児童数減少を単にマイナスと考えるのではなく、児童数が少ないというメリットを生かし、積極的に地域に出たり、校外学習で体験的な学習を多く仕組んだり本校にしかできない教育活動の実践に取り組んでいく。